

平野駅 (JR大和路線) ①

誇り高き環濠自治都市・平野郷めぐり



「大阪あそび歩マップ集」
その3 No.144

JR平野駅

平野という地名は、初代征夷大將軍・坂上田村麻呂(758~811)の次男・坂上広野(787~828)の土地であったことが由来といわれています。

①大念佛寺

融通念佛宗の総本山です。大治2年(1127)、良忍上人が創建した日本最初の念仏根本道場で、わが国に広まった念仏信仰の先駆けとなりました。本堂は大阪府下最大の木造建築で、寺宝として「幽霊の小袖」が伝わっています。



②馬場口地蔵

平野郷の環濠集落には13の門があり、それぞれ門番屋敷を置いて、街道に出入りする通行人の荷物検査などを行っていたといわれています。各門には地蔵堂が置かれ、馬場口地蔵はそのうちのひとつです。

③(西)末吉家邸宅

末吉氏は坂上広野の子孫です。平野を治めた七名家の筆頭で、朱印船貿易で財を成し、伏見銀座の年寄なども歴任しました。邸宅は築後300年を越す屋敷で、国の登録文化財に指定されています。

④長寶寺

大同年間(806~810)に、坂上田村麻呂の娘で桓武天皇の妃とな

った坂上春子(生年?~834)が開山したといわれています。後醍醐天皇が吉野に向かう途中に仮の皇居としたこともあります。同寺収蔵の『よみがえり草紙』によれば、永享11年(1439)に慶心坊尼が頓死して恐ろしい地獄を廻り、閻魔王の前まで来ましたが、閻魔王は「このものは閻魔王の実判を持っているから地獄には落とせない」といって3日後に無事に蘇生しました。この「閻魔王の実判」は現在も寺にあります。

⑤平野映像資料館

染と呉服の店「まつや」内にあります。毎月第4日曜日の13~17時には、まつや主人が平野の昔話を語ったり、40数年間にわたって記録した平野の風物や行事などを映像や写真で紹介してくれます。また世界で1台というめずらしい活動幻灯機もあります。

⑥杭全神社

社伝によれば、貞観4年(862)、坂上広野の子・当道(813~867)が素盞鳴尊を勧請したのが神社のはじまりといわれています。元亨元年(1321)には熊野三所権現を勧請合祀し、後醍醐天皇から「熊野三所権現」の勅額を賜っています。第三殿は檜皮葺春日造で、永正10年(1513)の棟札を持っています。環濠の遺構が社域内に残っているほか、日本で唯一の連歌所も残っています。また毎年7月12・13日に9台の地車が曳行する杭全神社の夏祭は、大阪市内で最大規模の地車祭としても知られています。



JR平野駅

